

最終報告用

令和4年度 総社市市民提案型事業用

対話型担い手創出事業

そうじゃチャレンジラボ KUWADATE



代表 森 亮介

令和4年5月27日

第一期 事業実績

第一期：令和3年9月～令和4年1月 （講座：計4回）

オンライントークイベント @ ZOOM 令和3年8月22日（日）10時～12時

第1回講座 @ ZOOM 令和3年9月23日（木・祝）13時～17時

自己紹介、気になっている地域課題についてディスカッション

第2回講座 @ FLCB 令和3年10月23日（土）13時～17時

各受講生の気になる地域課題のプレゼン、マイプランの方向性検討

第3回講座 @ Sースタ 令和3年12月19日（日）13時～17時

マイプラン作成、それぞれのマイプラン概案を発表、意見交換

第4回講座 @ FLCB 令和4年1月22日（土）13時～17時

最終発表、講師・ゲストからの講評、振り返り

事業の内容

【 講座の流れ 】

開講式：説明会、ゲストスピーカーによる講演

第1回：自己紹介、アイスブレイク

第2回：ゲストスピーカーによる講演、「マイプラン」の作成

第3回：ゲストスピーカーによる講演、「マイプラン」の修正

第4回：「マイプラン」発表会、フィードバック

第一期 事業実績

第一期：令和3年9月～令和4年1月 （講座：計4回）

受講生

11名（男性：7名、女性：4名）

※ 総社市に在住・在勤・在学の方

職種

医療系、福祉系、金融系、行政、農業系、
自営業、大学生

年齢層

10～20代：5名、30代：4名、40代：2名

年齢・職種を超えて、地域について思いっきり話せる



安心安全な"カオス"な場 が形成された

第一期 事業実績



理想像・ビジョン

担い手潜在層の「駆け込み寺」となるプラットフォームを形成し、
市民が主体的に活動を行える自治体になることを目指す

小さなチャレンジが
できるヒトを発掘

総社で想いを持った
ヒトとヒトをつなぐ

1人のカリスマリーダーではなく

週末掛け持ちヒーローとともに

市民活動の 担い手の輪 を広げていく

受講生のゴールイメージ

異なるスタートライン・バックグラウンド



身近にある課題について
自分なりの想いを言葉にできた



同期やゲストの活動を
応援していこうと思っている



いままで無関係だと思っていた
活動に参画しようと考えている



自分で活動を起こしたい
と考えている

関係人口としての担い手

実施主体としての担い手

受講生の最終発表概要（抜粋）

50代女性（医療関係）

- ・ 制服リユースショップを核にした、居場所つながり支援・リラクゼーション拠点の拡充及び移動型サロンの開設

30代男性（自営業）

- ・ ポストコロナに向け、人が集まり、エンターテインメントを共有できるスポーツのパブリックビューイングパブの開設

20代男性（金融保険業）

- ・ 被災地域の災害体験を風化させず、若い方に防災意識の向上を図るために体験談を語り継ぐ語り部活動

20代女性（大学生）

- ・ 親子で理解できる発達障害（ADHD・ASD）の絵本製作

効果測定

市民主体での課題解決についての学びを深める場が形成される

- (1) 社会課題・生活課題への当事者意識を持てるようになる
- (2) それを基に解決のための活動を始め人が出てくる
- (3) 学びとチャレンジのコミュニティが形成され、輪が広がっていく

< 効果測定 >

- (1) 受講後のアンケートで意識調査を行い、8割以上が「意識が向上した」と答える
- (2) 3割の受講者が、実際の活動始める
- (3) 当事業を継続するためのシステムを形成する

効果測定

< 効果測定 >

- (1) 受講後のアンケートで意識調査を行い、8割以上が「意識が向上した」と答える
- (2) 3割の受講者が、実際の活動を始める
- (3) 当事業を継続するためのシステムを形成する

< 結 果 >

- (1) 参加した全員から、「まちについて、考える機会となった」との回答
- (2) 現在、受講生3名の活動開始に伴走予定 → 3割には満たず
- (3) 令和4年度講座から、第1期卒業生による実行委員会を設立し、運営補助を行う

第一期受講生の声



30代 男性
芸能関係

総社で地域のことを考え、夢を持っている方が集まり、話をでき大変刺激になった。会では好きなことを中心にどのようなことができるか考え、先生から「週末ヒーロー」という考えを教わり、気軽にできることからいいんだと教わった。気軽にチャレンジしてみようと思え、これから学んだことや考えたことを実行に活かしてできることからがんばりたい。

今回KUWADATEに参加してみて、自分に何ができるのか、率直な思いでも柔軟に受けてめてくれる場がそこにはありました。

人間性をさらけ出すほうが伝わり、そこから思わぬ方向に考えが発展していきました。自分の世界が広がった気がします。良き仲間、講師、運営の方々に感謝です。

今後も楽しみながら、探究し続けていく、後々それが地域の為になれば幸いです。



40代 男性
医療関係

成果と課題

成果

- 異年齢・多職種を受講生が集まり、対話・議論をする中で、お互いを認め合いながら想いを深められる**安心安全な"カオス"な場**を形成することができた。
- それぞれの到達点を認め合い、単年度だけで集結しない地域づくりコミュニティの土台を作り始めることができた。

課題

- 講座の開講時間等が、主婦の参加を難しくしているとの声があった。
- 実際に受講した方の意見が反映されたプログラムにすると、細かい配慮などができるのではとの声があった。

昨年度からの変容

- 第一期受講生のうち、マイプランの実装を検討している方のフォローアップを行い、活動開始に向けサポートする。
- 第一期受講生を、実行委員として任命。講座の運営や、第二期受講生のフォローアップを行う。
- 県内外の姉妹塾と連携し、受講生同士の交流を図るほか、卒業生の実績報告を行うことで各自のマイプラン作成の参考にしてもらう。第一期受講生には他塾への協力も依頼。

➡ **自主運営できる仕組みづくりの1年に**

他事業との関連

そうじゃわかもの寄合・・・総社市内のプレイヤーが集い、つながる場づくり

受講生へも案内を出し、すでに活動している実践家たちとのコネクションをつくる。また検討中のプランへもアドバイスをいただく。

そうじゃわかもの寄合の寄席・・・講師をみんなで選び、学び合う場づくり

受講生から講師選定を行うコアメンバーに参加いただき、企画運営を行う。受講生にも案内を出し、まちづくりなどに関する学びを受け取ってもらうほか、そこに参加する方との交流も図る

その他関連するイベント・企画

受講生が主催・関係するイベント・企画や、MONUnoCHIEとして開催するイベントには案内を出し、積極的な参加を促す。また各企画へのお手伝いなども依頼することで、企画運営のノウハウも学ぶことができる。

事業決算

収入の部

費 目	金 額	備 考
市民提案型事業補助金	500,000	
団体負担金	1,000	通帳作成
参加費	42,014	講座受講料
収入計	543,016	

支出の部

費 目	金 額	
報償費	44,000	3名分謝金
消耗品費	25,978	文房具、印刷用紙、SDカード等
食糧費	9,783	会議
手数料	3,960	振込手数料
使用料・賃借料	93,800	会場使用料
備品購入費	178,066	リモート開催用備品等
委託料	35,000	広報物制作・講座コーディネート
支出計	538,763	

令和4年度繰越額：¥543,016 - ¥538,763 = ¥4,253

ご清聴ありがとうございました